

特集

ワーク・ライフ・バランスの
ススメ

【ワーク・ライフ・バランス】…仕事と家庭や私生活との調和



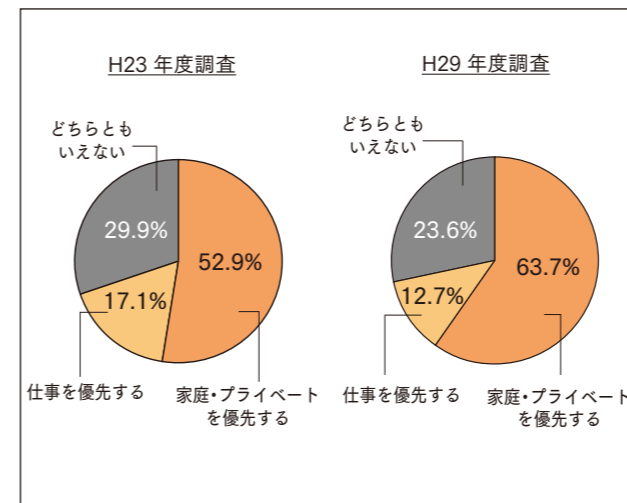
現在日本では、急速に進行する少子高齢化、そしてそれに伴う生産年齢人口の減少が大きな問題となっており、燕市もその例外ではありません。

一方で、近年都市圏から地方への移住傾向も高まりを見せていることも事実です。地方移住希望者をサポートする施設「NPO法人ふるさと回帰支援センター」での相談件数は、新型コロナウイルス感染症による影響のあった2020年を除き、年々増加の傾向にあります(図1参照)。今後は都市圏からの移住に加え、これまで流出していた若者が地元に戻ろうとする動向にも注目が高まっています。

そこで課題となるのが、若者が働きたいと思える職場が燕市にあるかどうかです。「ワーク・ライフ・バランス」つまり、仕事と家庭・私生活のバランスが職業決定において大きなポイントとなっています(図2参照)。地方の人口減少に歯止めをかけ、労働力不足を改善するためにも、「今」こそがさらなる職場の環境改善に取り組むべきチャンスであると言えるのではないのでしょうか。

「家庭・プライベートを優先する」が10.8%増加！

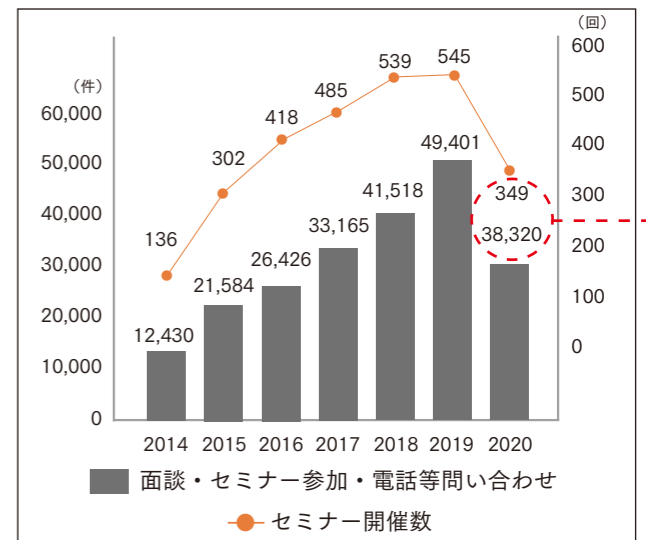
図2 仕事と家庭・プライベート(私生活)とのバランス



※内閣府「平成30年度版 子供・若者白書 特集：就労等に関する若者の意識」から引用

地方への移住希望者は年々増加！

図1 NPO法人ふるさと回帰支援センター年度別実績



※NPO法人ふるさと回帰支援センター提供資料を一部抜粋して引用

求人や仕事の効率化においても

ワーク・ライフ・バランスが鍵

現在の日本・燕市の労働環境について教えてください

働き方改革の推進に伴い、時間外労働の削減や休暇の管理が以前より徹底されるようになりました。燕市の中小企業においてもアットホームな雰囲気は残しつつも、労務管理が浸透してきているという印象を受けます。

今後は、ベテラン世代の退職・人口減少により、人材確保がこれまで以上に難しくなることが予想されます。自社サービスや製品の質の向上に取り組むことと同様に、人材確保にも力を入れる必要があります。そのためには、比較的取り組みやすい職場環境の整備が効果的であると言えるでしょう。

ワーク・ライフ・バランスの実現の必要性やメリットは何でしょうか？

短時間で集中して業務に取り組むことによる労働生産性の向上をはじめ、心身の不調を未然に防ぐという調査結果もあります。また、「職場環境整備の認定や助成を受けている」と求人票に記載があると、やはり

反応が違うようですね。特に求職活動をする若い年代は、ワーク・ライフ・バランスを重視する人が多くなってきましたから、認定制度導入は人材確保にはとても有効な手段だと思います。

職場の環境整備に取り組む上で気を付けることはありますか？
いざ職場の環境改善を始めようにも「何から手を付けていいのか」「せっかくなの整備ならしっかりと効果を実感したい」と思う人も多いはず。そのためにもまずは国、県、市の認定制度や確認項目を参考に、順を追って進めることが重要です。1つの認定からまた次の認定へと繋がるケースも多くあります。お困りの際は社労士もお助けいたしますので、ぜひお気軽にご相談ください。



いのうえ ともはる 井上 智玄さん (社会保険労務士)

NA & HRコンサルティング社会保険労務士法人 所長

とやま あり 外山 亜里さん (燕市在住)

就職活動を控えた大学3年生



就職先を選ぶ上で重視するポイントは何ですか？

3つあります。1つ目は、「働きやすさ」です。具体的には、休みの取りやすさ(育休や介護休など)や残業時間に注目しています。給与はもちろんですが、福利厚生・休暇制度などのバランスもとても重要だと思います。2つ目はやりがいです。企業の規模や知名度などもポイントですが、自分が働いていく中で一緒に成長した姿を想像することができる企業に魅力を感じます。3つ目は、コロナ禍で導入が進んだテレワークなど、時代に合った働き方への柔軟性もポイントの1つにしています。

ワーク・ライフ・バランスを実現している企業は学生にとっても魅力的ですか？

魅力的だと思います。以前は仕事を最優先とする考え方が一般的だったと思いますが、仕事以外の生活の質も大切だと感じています。生活をしていく上で軸となる仕事だからこそ、職場環境も重要なのだと思います。育休や介護休はもちろん、子どもの学校行事への参加などにも理解がある職場だと嬉しいですね。生活の充実が仕事の原動力にもなると思いますから。

転職が一般的な時代となりつつありますが、長く働めたいと思える企業とは？
私自身は就職をする際に、転職などは考えていません。しかし最近、転職を視野に入れて働いている人が周りに増えていと感じます。職場内での人間関係から転職を考え始めるきっかけとなる場合もあると聞きます。それに対して、チームワークや困った時に助け合うことのできる体制が整っている企業があれば、就職したいと思うし、長く働めることもできるのだと思います。

生活の軸となる仕事だからこそ

職場の環境を重視します